

2025年7月29日
プレスリリース No. 008-25

本学教員がコーヒーと気候変動をテーマにした書籍を出版しました

『コーヒー2050年問題』

本学文化政策学部国際文化学科の武田淳准教授が、“コーヒーと気候変動”をテーマにした一般書『コーヒー2050年問題』(東京書籍)を出版しました。昨今の世界的な気候変動の影響を受けて2050年にはコーヒー豆の適作地域が半減すると予想されています(コーヒー2050年問題)。コーヒー豆の収穫量が減少すれば、生産者は貧困に陥り、また、私たち消費者にとっても世界的なコーヒー不足が待ち受けている深刻な問題です。今生産地では何が起きているのか、コーヒーの未来はどうなるのか、問題の解決策はあるのか……。コーヒーを通じて気候変動を考える一冊です。

■現地の「生の声」からコーヒー産地を描く

武田准教授は、文化人類学を専門とし、対象地域はコスタリカ(中米)とパプアニューギニア(オセアニア)を中心として約25年間フィールドワークを続けてきました。いずれもの国も高品質なコーヒー豆の産地として知られる地域ですが、フィールドワークを通じて「最近気候がおかしい」とか「収穫量が減った」といった声が年々多く聞かれるようになってきたことから、生産地で何が起きているのかを伝えようと出版を計画しました。

■イラストや写真で分かりやすく伝える産地の「今」と「未来」

書籍では、26の国と地域のコーヒー豆生産の現状をまとめています。これらの産地は日本から遠く離れた場所にあり、私たちにとって馴染みの薄い国が多いため、イラストや写真を多用しました。また、現状だけでなく、生産量維持や減少した収入を補うための新しい取り組みについても紹介しています。

書籍化にあたって、本学文化政策学部の学生が一部の記事を執筆したり、デザイン学部の学生がイラストを描いたりするなど、学生の力も借りながら完成させました。

■書籍概要

タイトル:コーヒー2050年問題

著者:武田 淳

定価:2,640円(本体2,400円+税10%)

発売:2025年7月8日



本書のHP(東京書籍)

<本リリースに関する問い合わせ>

静岡文化芸術大学

武田淳研究室

E-mail: j-takeda@suac.ac.jp

Tel:080-5896-4955 /

地域連携室(担当:福澤) E-mail: chiiki.suac.ac.jp

Tel. 053-457-6105

公式 Web サイト

